学校番号	T3036

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選日本史探究　今につなぐ　未来をえがく（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の歴史総合で培った資質・能力をもとに、原始から近現代までを学びます。歴史の流れをつかみ、歴史総合で獲得した知識・技能を活用して、自らが問いを立て、それをより深めていってもらいます。また、日本史は日本のみの歴史を扱う科目ではありません。日本と関わる世界の国の歴史（主に東アジア史）と日本の歴史を相互に関連付けて理解することを意識してください。最終的には、日本の歴史を通して、現代の日本・日本人の課題やあるべき姿を考えて、自分の言葉で表現できるようになってもらいたいと思います。

2　学習の到達目標

・現代的事象を歴史事象と結び付け、歴史的視点から比較・考察・表現することができる。
・様々な史資料を読み解き、歴史的思考力を培う。また、時期や年代、推移、比較などに着目して多面的・多角的に考察する力を培う。
・日本史の学習を通して、日本独自の文化や伝統を学び、世界の中での日本と日本人の資質やあるべき姿を自らで考える。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原始から近世までの日本の歴史について、地理的条件から世界の歴史と関連付けて総合的にとらえて理解し、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめている。	日本の歴史に関わる事象の意義や意味、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互関連や現在とのつながりに着目して、多面的・多角的に考察したり、現代日本のさまざまな課題を歴史的観点から過去にのぼって考察し、その過程や結果を適切に理解し、表現することができている。また、史資料を自分なりに読み解き、そこから考えられることについて他の生徒と議論している。	原始から近世までの日本の歴史に関する関心を高め、意欲的に探究する態度を培い、よりよい社会の実現にむけて主体的に課題に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	原始・古代の日本と東アジア	・原始社会の様子と農耕文化の成立 ・中国大陸や朝鮮半島とのかかわり ・古墳とヤマト政権の形成から飛鳥の朝廷の成立	a:原始時代から飛鳥朝廷に至る流れを理解している。 b:考古資料や中国の史料から原始時代の日本列島の様子を考察している。また、それらを自分で説明することができる。 c:原始・古代の日本と東アジア情勢について学んだことを活かし、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
		・律令国家の形成と奈良時代の政治と社会、天平文化 ・平安時代の政治と文化 ・摂関政治の社会・経済、国風文化	a:律令国家の形成について、政治制度や文化を東アジアを中心とした近隣諸国との関係と結び付けて理解し、その知識を身に付けている。 b:奈良時代～摂関政治期の政治制度や文化について、時代背景や近隣諸国との関係を基に自分で説明することができる。 c:奈良時代・平安時代の政治や文化を自分なりにまとめ、中世とはどのような時代になるのかを主体的に考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	中世の日本と世界	・院政と兵士の台頭 ・中世荘園 ・鎌倉幕府の成立、モンゴル襲来、鎌倉文化	a:武士の登場、中世社会の始まりと中世の基礎となる荘園について理解している。 b:武家政権の樹立について、権門体制をもとに考え、その時代背景や文化への影響を自分で説明することができる。 c:中世社会の様子や文化について特に仏教をテーマに主体的に考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

		・鎌倉幕府の滅亡 ・南北朝の動乱と室町幕府の成立 ・室町時代の文化	a：鎌倉幕府が衰退した理由と建武の新政から南北朝の動乱、室町幕府の成立の流れを理解している。 b：室町幕府の支配体制や惣村などから自力救済社会における人々の様子や文化への影響を考察している。 c：鎌倉幕府と室町幕府を比較し、さらに中世社会から近世社会への転換について主体的に考察しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
後期		・戦国期と戦国大名の台頭 ・室町時代の社会・経済	a：戦国大名の領国支配について社会・経済史を通じて理解している。 b：室町幕府の経済基盤を鎌倉幕府と比較して考察している。また戦国大名の領国支配を分国法から考察している。 c：室町幕府の支配体制の動揺について、守護大名や民衆との関係性から主体的に考察し、まとめようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	近世の日本と社会	・織豊政権の成立 ・安土桃山文化と織豊政権期の社会・経済 ・幕藩体制の展開	a：織豊政権の成立から江戸幕府の成立に至る歴史について、鎌倉幕府・室町幕府と異なる点や南蛮文化の影響などから考察し、流れを理解している。 b：幕藩体制について理解し、財政問題に対してどのように対応していくことになるのかを考察している。 c：江戸時代が泰平の世であった理由をこれまでの幕府との比較や江戸幕府の初期政策から主体的に導こうとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

	近現代の地域・日本と世界	・大日本帝国の形成 ・大日本帝国とデモクラシー ・アジアの戦争と第二次世界大戦 ・現代日本社会の形成と展開	a: 19・20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 b: 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や現代への影響（領土問題も扱う）と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度